

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (課長補佐兼河川開発係長 渡邊弘昌)	内線	4408 (4433)
------	-------------------	---------------------	------------------------------------	----	----------------

事業種目	ダム事業	事業採択年度	H 5		現 計 画	再評価時点
事業名	八鹿生活貯水池建設事業	着工年度	未着工	総事業費	9.7億円	9.8億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	12.7億円	12.7億円
事業区間	養父郡八鹿町石原			完成予定年度	H23	H18
所在地	一級河川円山川水系小佐川（養父郡八鹿町）			進捗率 (内用補進捗率)	14% (0%)	4% (0%)
事業の目的				事業内容		
小佐川沿川の洪水被害を防除し、河川環境の保全等に必要な維持流量の確保及び既得取水の安定化を図るとともに、八鹿町に対して新たに日量1,200m <sup>3</sup> の水道用水の取水を可能にする。				型 式：重力式コンクリートダム ダ ム 高：57.5m 堤 体 積：106千m <sup>3</sup> 総貯水容量：1,090千m <sup>3</sup> 治水安全度：1/30		
進捗状況	平成5年度に事業採択後、地形測量・地質調査・環境調査等を進めるとともに、環境保全検討委員会を設置して、環境に配慮した事業計画を検討してきた。今後は、用地買収を行い、補償工事である付替道路等の工事にも着手して、平成23年度の完成を目標に、平成20年度の本体工事着手を目指す。					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小佐川沿川を含む八鹿町においては、平成2年9月の台風19号による大雨で、床下浸水276戸、床上浸水27戸等の浸水被害を受けており、小佐川の抜本的な治水対策が必要である。また、八鹿町の水道水源は伏流水や地下水であり、水量・水質面で不安を抱えているとともに、八鹿町内における将来の新規水需要が見込まれていることから、八鹿ダムが安定水源として期待されている。</li> </ul>					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>B/C = 1.55</math>    <math>C'/C = 1.31</math></li> <li>地元は早期完成を望み、協力体制が整っており、用地測量も完成している。</li> <li>八鹿町は、町内各地で水源調査を実施しているが、ダムに代わる水源は見つかっていない。</li> </ul>					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム建設に伴う自然環境への影響を極力低減するため、学識経験者による環境保全検討委員会を設置し、その意見を取り入れながら水没する貴重種の移植や継続調査を実施している。</li> <li>八鹿ダムには不特定利水容量を設けており、渇水時においても水生動物の生息に必要な河川流量を確保することが出来る。</li> </ul>					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小佐川流域では、平成2年9月に甚大な水害が発生しており、再度災害を防止する必要がある。</li> <li>八鹿町の既存水源のうち、近年枯渇、減退したものがあり、八鹿町は早期のダム完成を望んでいる。</li> </ul>					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			